

2025 **会 告** No.3

◇通知・案内事項

○化学工学会第90年会 概要 本号4ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2025)	(2026)
◇年会	3/12～14(東京理科大学)	
◇秋季大会		
◇支部大会		
◇学生発表会	3/8(オンライン)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2025年3月 March			
3～11	「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計編(3/3, 4, 10, 11)(オンライン)	2月21日(金)	2号8
8	第27回化学工学会学生発表会(オンライン)	2月14日(金)	2号8
10	第32回 イブニングセミナー「再生可能エネルギーとしてのアンモニア利用技術の開発最前線」(オンライン)	2月28日(金)	2号9
11	第28回反好会(反応工学会若手会)講演会(3/11)(東京都)	2月28日(金)	本号9
12～14	化学工学会第90年会(3/12-14)(東京都)		本号4
2025年4月 April			
22～24	「化学プラントの装置材料技術」講座(4/22-24)(オンライン)	4月14日(月)	2号8
2025年8月 August			
28～29	第59回化学工学の進歩講習会・2025年度ミキシング夏期セミナー「攪拌・混合技術の操作・設計基礎と最新情報」(愛知県)(8/28-29)	8月8日(金)	2号10

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
6月30日～7月4日	14th World Filtration Congress (第14回世界濾過会議)(WFC14) (6/30-7/4)(Bordeaux, France)	10月15日(火)	8号8
10月27～30日	The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2025) (第7回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議)(宮城県)	3月20日(木)	本号9

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2024年度化学人材育成プログラム協議会(東京都他)	2024年4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikusei/Prog/index.html
技術英語能力検定(令和六年度)(主催者が設定する全国の試験会場)	2024年4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1955 jstc@jma.or.jp https://jstc.jma.or.jp/

第16回日本複合材料会議(JCCM-16)(東京都)	2月27日～3月1日 (木～土)	日本複合材料学会, 日本材料学会	03-5981-6011 (03-5981-6012) jscm@asas-mail.jp http://www.jscm.gr.jp/conference/jccm-16/
種子島シンポジウム2025(鹿児島県)	3月1日(土)	種子島オープンプラットフォーム	03-5841-7937 rieko.shirae@if.u-tokyo.ac.jp https://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/soshiki/keizaikankoka/shoukouseisaku/coiland/symposium/symposium/index.html
生産システム部門研究発表講演会2025(山口県/オンライン)	3月3～4日 (月～火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 msd2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/msd/102_kouen25-6/
ISPlasma2025/IC-PLANTS2025(愛知県)	3月3～7日 (月～金)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2025@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/ (近日公開)
第18回日本化学連合シンポジウム「社会実装を実現する化学人材創出における新たな視点」(オンライン)	3月4日(火)	日本化学連合	03-3292-6010 (03-5577-3235) secretariat@jucst.org https://www.jucst.org/
第6回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム(オンライン)	3月4日(火)	日本工学会	03-6265-0672 (03-6265-0673) eng@jfes.or.jp https://www.jfes.or.jp/
化学機械溶接研究委員会 第2回圧力設備の溶接設計施工テキスト講習会 ～圧力設備の構造, 具体的な設計, 製作, 溶接・施工要領, 品質管理のポイントについて～(東京都及びオンライン)	3月6～7日 (木～金)	一般社団法人日本溶接協会	03-5823-6324 (03-5823-5244) yusuke_yamaide@jwes.or.jp https://www.jwes.or.jp/committees/chemical-plant/symposiums/
第63回 設備管理全国大会(東京都)	3月6～7日 (木～金)	公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会	03-6865-6081 (03-6865-6082) event@jipm.or.jp https://info-jipm.jp/event/management/
第21回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)	3月10日(月)	近畿化学協会	06-6441-5531 (06-6443-6685) seminar@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/event/2025/kobunshi21.html
第39回エレクトロニクス実装学会春季講演大会(東京都)	3月11～13日 (火～木)	一般社団法人エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) taikai39@jiep.or.jp https://jiep.or.jp/event/convention/jiep2025s/index.php
第75回プラスチックフィルム研究会講座(東京都)	3月12日(水)	高分子学会プラスチックフィルム研究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) resg3@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=670
コロイド先端技術講座2024 静的秩序および動的秩序を有するソフトマテリアル～人工材料から生体組織まで～(東京都)	3月14日(金)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	03-3292-6163 jigyokikaku_02@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202411/2024hitech/
2024年度第3回晶析分科会(茨城県)	3月14日(金)	日本粉体工業技術協会晶析分科会	0561-34-4995 crystallization@noritake.com https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2024/12/240314shoseki.pdf

周南コンビナート脱炭素推進協議会主催シンポジウム 周南から発信する未来のカーボンニュートラル社会(山口県)	3月15日(土)	周南コンビナート 脱炭素推進協議会	08-3422-8837 (08-3422-8357) scej.cn2050@scej.org https://www.city.shunan.lg.jp/site/complex-decarbonization/
腐食防食部門委員会第359回例会「腐食防食分野における規格化の動向」(大阪府)	3月17日(月)	公益社団法人日本 材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第135回触媒討論会特別シンポジウム(大阪府)	3月19日(水)	触媒学会	03-3291-8224 (03-3291-8225) secretariat@catsj.jp https://catsj135.infotecs.jp/special/
グリーン水素, アンモニアに関する国際シンポジウム(静岡県)	4月11~12日 (金~土)	沼津高専グリーン アンモニア研究セ ンター	090-4051-7366 (042-796-6863) kenaika@c01.itscom.net https://sites.google.com/view/greenammonianumazu/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0
2025 International Conference on Electronics Packaging and iMAPS All Asia Conference (ICEP-IAAC)(長野県)	4月15~19日 (火~土)	一般社団法人 エ レクトロニクス実 装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) icep2025@jiep.or.jp https://www.jiep.or.jp/icep/
第58回空気調和・冷凍連合講演会(東京都)	4月17~18日 (木~金)	公益社団法人日本 冷凍空調学会(幹 事学会), 一般社 団法人日本機械学 会, 公益社団法人 空気調和・衛生工 学会	03-5623-3223 (03-5623-3229) 3rengo-58@jsrae.or.jp https://www.jsrae.or.jp/info/3rengo-250417-18_no.58.html
第42回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月22~23日 (火~水)	公益社団法人日本 空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
第62回日本伝熱シンポジウム/HTSJ国際伝熱シンポジウム(沖縄県)	5月14~17日 (水~土)	公益社団法人日本 伝熱学会	045-924-5016 (045-924-5016) symp2025@htsj-conf.org https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/htsj2025
第30回計算工学講演会(埼玉県)	6月4~6日 (水~金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jsces.org https://www.jscs.org/koenkai/30/
第29回動力・エネルギー技術シンポジウム(石川県)	6月5~6日 (木~金)	日本機械学会 動力 エネルギーシステ ム部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) izawa@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/25-13/
日本コンピュータ化学会2025年春季年会(東京都)	6月5~6日 (木~金)	日本コンピュータ 化学会	080-2388-0894 sccjoffice@scej.net https://www.scej.net/events/nenkai/2025sp/
International Symposium on Scheduling 2025(東京都)	6月28~30日 (土~月)	スケジューリング 学会	052-789-4239 (052-789-4239) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/iss/2025/
第4回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議(英文名) The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)(兵庫県)	7月1~4日 (火~金)	日本計算工学会 (JSCES), 日本計算 力学連合(JACM)	078-940-5541 compsafe2025@compsafe2025.org https://www.compsafe2025.org/

第62回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月2～4日 (水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第8回材料界面の評価と制御に関する国際会議 The 8th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2025) (山梨県)	7月8～11日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 045-339-3957 iccci2025@ynu.ac.jp https://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2025/
環境工学ワークショップ2025 (IWEE2025) & 第35回環境工学総合シンポジウム2025(北海道)	7月18～21日 (金～月)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 env-symp2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/iwee/2025/
2025年度工学教育研究講演会(京都府)	8月27～29日 (水～金)	日本工学教育協会, 関西工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2025_jsee_conference@jsee.or.jp https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsee2025
先進赤外線計測技術と応用に関する国際シンポジウム(AITA 2025)(兵庫県)	9月15～19日 (月～金)	一般社団法人日本非破壊検査協会	022-279-7862 (022-279-7863) aita@jsndi.or.jp https://english.jsndi.jp/aita2025/index.html
EcoDesign2025 国際会議 (14th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing) (東京都)	11月12～14日 (水～金)	エコデザイン学会連合	03-5286-2147 ecodesign2025_secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/ed2025/

化学工学会第90年会 概要

会 場：東京理科大学 葛飾キャンパス(〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1)

※口頭の一部シンポジウムはオンライン参加も可能です

会 期：2025年3月12日(水)～3月14日(金)

※シンポジウムSP-1は3月11日(火)実施です

懇親会会場：東京理科大学 葛飾キャンパス 管理棟1階「学生食堂」

懇親会日時：2025年3月13日(木)18:00～19:45(予定)

参加登録期間：第三期(含む当日)2025年2月13日(木)～3月14日(金)12:00

大会WebサイトURL：<https://www4.scej.org/meeting/90a/>

※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第90年会は、2025年3月12日(水)～14日(金)の3日間(シンポジウムSP-1は会期前日11日(火)実施)、東京理科大学 葛飾キャンパス(JR常磐線(東京メトロ千代田線)「金町」駅/京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩8分)にて開催されます。

本大会では、参加登録期間が三つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2025 (IChES 2025)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

本大会の実施形態について

本大会では現地開催を基本とし、X-51、X-52とHQ-21を除く各シンポジウムと、IS-1(IChES 2025一般研究発表)、式典、学会賞受賞記念講

演、技術賞受賞記念講演のみライブ配信併用で実施します。オンライン参加はライブ配信対象セッションに限られます。IS-1を除く一般研究発表は全て現地のみでの実施です。ご注意ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・現地参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

懇親会

東京理科大学葛飾キャンパス管理棟1階「学生食堂」にて、会期二日目3月13日(木)18:00～19:45に立食形式にて開催いたします。奮ってご参加ください。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第三期(含む当日) 2月13日(木)～3月14日(金) 12:00まで

開会式等

日時 3月12日(水)9:00～11:40
場所 Z会場(図書館3階 大ホール)
◇開会宣言
◇名誉会員推戴式
◇会長挨拶
◇学会表彰等授与式
◇学会賞受賞記念講演

企画紹介

詳細・最新情報は、大会webサイトをご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

◇学会賞

Z105(3月12日(水)11:00~11:40)
【池田亀三郎記念賞】
化学反応を利用した薄膜形成プロセスの論理的最適化に関する研究
(東京大学)霜垣幸浩氏

◇研究賞

K206(3月13日(木)10:40~11:00)
【玉置明善記念賞】
マルチスケール計算化学に基づくエネルギー・物質変換界面に関する研究
(信州大学)古山通久氏
M209(3月13日(木)11:40~12:00)
【實吉雅郎記念賞】
機能性生体材料と細胞組織体を基盤とした実用的医用化学工学研究
(九州大学)井嶋博之氏

◇研究奨励賞

L213(3月13日(木)13:00~13:20)
【玉置明善記念賞】
潜熱蓄熱材を用いた熱管理による圧力スイング吸着法の高性能化
(京都大学)平出翔太郎氏
L214(3月13日(木)13:20~13:40)
【内藤雅喜記念賞】
設計的合成のためのハイスループット計算によるゼオライトの原子配列解析
(東京大学)村岡恒輝氏
L308(3月14日(金)11:20~11:40)
【實吉雅郎記念賞】
高剪断場による核化の機能強化に基づいた新規晶析プロセスの構築に関する研究
(東京農工大学)甘利俊太郎氏
L309(3月14日(金)11:40~12:00)
【實吉雅郎記念賞】
ナノ・微粒子材料の局所集積化による新機能創成
(東北大学)渡部花奈子氏

◇技術賞

C212(3月13日(木)12:45~13:05)
福島第一原子力発電所で発生する汚染水の処理技術
(東芝エネルギーシステムズ(株))岡部寛史氏・阿部紘子氏・田嶋直樹氏・山田和矢氏・堀本太一氏
C213(3月13日(木)13:05~13:25)
包括的な機能を有するソフトセンサー設計ツールの開発
(奈良先端科学技術大学院大学)船津公人氏・(東京農工大学)金尚弘氏・(富士電機(株))田中雅紀氏・(UBEエラストマー(株))村上理彦氏・(UBE(株))土井佑介氏

◇女性賞

E201(3月13日(木)9:00~9:30)
複雑流体の流動挙動解明と制御に基づく革新的化学プロセスへの展開
(名古屋大学)日出間り氏
E202(3月13日(木)9:30~10:00)
日用品製品開発から次世代人材育成へ～社会課題に化学工学的視点でアプローチ
(特定非営利活動法人女子中高生理工系

キャリアパスプロジェクト)永合由美子氏

◇アジア国際賞

B214(3月13日(木)13:20~14:00)
Separately Storing Electrons and Protons at Ru Particles and Base Promoters to Facilitate Ammonia Synthesis
(Korea Advanced Institute of Science and Technology, KAIST)BAIK Yaejun氏, CHOI Minkee氏
D113(3月12日(水)13:00~13:40)
Challenges & Opportunities of hybrid intensified reactive-extractive distillation
(Sunway University)KONG Zong Yang Savier氏
E113(3月12日(水)13:00~13:40)
Design and Synthesis of Semiconducting Polymers for Solar-driven Hydrogen Evolution from Water
(National Tsing Hua University)
CHOU Ho-Hsiu氏
E214(3月13日(木)13:30~14:00)
Membrane-based Crystallization Control and Separation Process Intensification
(Dalian University of Technology)
JIANG Xiaobin氏

第15回 化学工学ビジョンシンポジウム
「2036年のビジョン実現に向けて」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月12日(水)午後
場所 C会場(講義棟2階201)
化学工学会創立100周年となる2036年に向けたビジョン『化学工学会 VISION 2036』が2024年3月に発表されました。これからはどのようにしてこのビジョンを実現していくかを会員の皆さんと考えていくことが大事になります。そこで本シンポジウムでは、同ビジョンに関連する招待講演を通じて様々な視点からビジョン実現に向けたアクションを考えるヒントを得ることを目的としていますので、皆さんのご意見や反応が何よりも重要です。奮ってご参加ください。
プログラムは大会webでご確認ください。

特別シンポジウム
「2050年 カーボンニュートラルへの道」
(一般公開企画)
＜ライブ配信併用＞

日時 3月11日(火)13:00~17:00[会期前日]
場所 A会場(講義棟1階101)
主催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会
戦略推進センター・CCUS検討委員会
戦略推進センター・SDGs検討委員会
共催 (一社)触媒学会
後援 環境省, 林野庁, 日本学術会議, (公社)日本工学会, (公社)日本工学会アカデミー, (一社)日本化学連合

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要があります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討を進めております。

2020年3月以降、年会、秋季大会ごとに開催しております本シンポジウムですが、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月11日(火)午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを

実施いたします。今回は、「カーボンインディペンデンス(炭素自立)ビジョン:CO₂排出削減が困難な産業の循環経済への変革 ver.2」の公表、および、産業間連携について議論したいと思います。参加費無料の一般公開シンポジウムとなります(事前参加登録制)。化学工学が挑む未来社会について多くのみなさまとともに語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

A013(13:00~13:30)
循環型産業への転換によるカーボン・インディペンデンスの実現 ver.2.0
(東京大学)辻佳子氏
A014(13:30~14:00)
[招待講演] 素材産業の国際競争力強化に向けた戦略
(経済産業省)土屋博史氏
A016(14:20~14:50)
[招待講演] 使用済みプラスチックのガス化ケミカルリサイクル事業に見る産業間連携
(株)レゾナック)別府隆幸氏
A017(14:50~15:20)
[招待講演] 欧州におけるPower to X事業とその市況(仮)
(European Energy)増田大騎氏
A018(15:20~15:50)
[招待講演] カーボンニュートラルと産業・経済構造の転換
(東京大学)尾下優子氏
15:50~16:50
パネルディスカッション
ファシリテーター:(日揮ホールディングス)水口能宏氏
パネリスト:ご講演者
16:50~17:00
閉会の辞
(化学工学会会長)森川宏平氏

特別シンポジウム
「化学工学分野における
スタートアップの可能性」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月13日(木)13:00~17:30
場所 A会場(講義棟1階101)
持続的な経済成長の推進役として、スタートアップにかかる期待は大きい。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、イノベーションの鍵となるスタートアップを5年で10倍に増やすことをめざし、5か年計画をまとめました。このような中、IT技術を活用するテック系スタートアップだけでなく、社会の根深い課題を先端的な技術で解決するディープテックスタートアップに対する期待が高まっています。テック系のスタートアップは数か月の開発サイクルで数年での上市、5年程度でのIPOやM&Aでのエグジットを目指します。これに対してディープテックスタートアップは、製品上市まで長期間が必要となり、開発に必要な資本も一桁以上大きく、研究開発人材と経営人材のミスマッチ、研究開発人材と出資者とのディスコミュニケーション、など様々な課題に直面します。本シンポジウムでは、スタートアップを取り巻く人財の課題、事業会社のオープンイノベーションへの取り組み、アカデミア発スタートアップの起業の課題、アカデミア発スタートアップの成長への挑戦などについて講演を頂戴する予定です。ディープテックのシーズをもつアカデミアの人材の集まる場である化学工学会の立場から、スタートアップを創出し、社会を変えていく可能性について議論します。

13:00~13:20

企画趣旨 経緯とディープテックスタートアップをとりまく環境

(信州大学)古山通久氏

A214(13:20~13:50)

[招待講演] シーズ起点のスタートアップの学び -PFI, PFN, PFCCの事例から

((株)Preferred Networks)岡野原大輔氏

A216(13:50~14:20)

[招待講演] 有機半導体結晶の基礎科学とイノベーション

(東京大学)竹谷純一氏

A217(14:20~14:50)

[招待講演] マルテンサイトエピタキシャル技術による半導体市場の次世代革新の創出

((株)Gaianax)木島 健氏

A220(15:10~15:40)

[招待講演] 北三陸の技術と哲学で世界の海を豊かにする

((株)北三陸ファクトリー)眞下美紀子氏

A221(15:40~16:10)

[招待講演] 省エネ炭素固定を世界中どこでも：ニーズ起点からの技術開発でゲームチェンジを狙う

(東北大学)福島康裕氏

A224(16:30~17:00)

[招待講演] アカデミアにおけるアントレ人材育成への期待

(デロイトトーマツベンチャーサポート(株))松浦麻子氏

A225(17:00~17:30)

[招待講演] 環境エネルギー領域、素材産業分野におけるスタートアップ支援(仮)

(Beyond Next Ventures(株))伍堂公浩氏

特別シンポジウム

「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行ー持続可能で充足する食生活の探索」

(一般公開企画)

<ライブ配信併用>

日時 3月14日(金)13:00~17:00

場所 E会場(講義棟2階203)

主催 戦略推進センター・SDGs検討委員会
地域連携カーボンニュートラル推進委員会

共催 産学官連携センター、男女共同参画委員会

セッションスポンサー (株)カネカ、キッコーマン食品(株)

協賛 (一社)細胞農業研究機構、(公社)日本食品科学工学会、(公社)日本栄養・食料科学会、(一社)日本食品工学会、(一社)日本化学工業協会、(公社)新化学技術推進協会、(一財)バイオインダストリー協会

後援 (地独)東京都立産業技術研究センター、日本学術会議

札幌宣言が目指す、人々の「健康、安心、幸福」を生活者視点から探索すべく、特に身近な「食生活」をテーマに、食の未来を講演と参加型ワークショップから描きます。講演では、食の持続可能性を実現しうる先端技術である培養肉から、従来からありつつも拡大が難しい昆虫食、そしてこれまでの食生活から食の「豊かさ」を探索するテーマまでカバーします。シンポジウム後半は、参加者とともに食生活の充足条件とサステイナブル化に向けた行動変容をテーマにワークショップを実施し、アクションに向けた契機を探ります。

13:00~13:05

シンポジウム趣旨説明

(早稲田大学)天沢逸里氏

E314(13:05~13:35)

[招待講演] ライフスタイル変革ー持続可能なフードシステムの実現に向けてー

(東京都市大学)古川柳蔵氏

E315(13:35~14:05)

[招待講演] 美味しく食べてSDGsに貢献する昆虫食ー“ゲテモノ”から“日常食”へー

(NPO法人 昆虫食普及ネットワーク)内山昭一氏

E317(14:20~14:50)

[招待講演] 細胞性食品(いわゆる培養肉)に係るルール形成の現状

((一社)細胞農業研究機構)吉富愛望アビガイル氏

14:50~15:00

グループワークシヨップ準備

15:00~15:10

グループワークシヨップ趣旨説明

(早稲田大学)天沢逸里氏

15:10~17:00

グループワークシヨップ

国際シンポジウム <ライブ配信併用>

◇Indo-Japan Joint Symposium on Chemical Engineering

Date/Time Mar. 12(Wed) 13:00~15:00

Room Hall A (Lecture Hall Bldg. 1F 101)

Organization Indian Liaison Committee, Center for International Exchange

A joint symposium between IICe and SCEJ. We invite researchers and industrial person from India to discuss the recent research topics and future prospects of chemical industry and chemical engineering research and education.

◇Systems Approach to Design of Sustainable and Intensified Processes

Date/Time Mar. 12(Wed) 13:00~16:20

Room Hall D (Lecture Hall Bldg. 2F 202)

Organization Division of Systems, Information and Simulation Technologies

This symposium focuses on methodology for design of sustainable and intensified processes with various spatiotemporal scales from molecular reactions to transport phenomena, process systems, and social systems. We invite Dr. Zong Yang Kong of Sunway University, who has won the Outstanding Asian Researcher and Engineer in SCEJ, as the keynote speaker for process intensification. And we will hold discussions on future direction of multiscale analysis and design through the invited talks by domestic and foreign researchers in the field of chemical engineering and process systems engineering.

◇Cutting-Edge Design of Structural and Functional Controls of Materials

Date/Time Mar. 12(Wed) 13:00~15:40

Room Hall E (Lecture Hall Bldg. 2F 203)

Organization Division of Materials and Interfaces

This symposium focuses on the material design connected to the interfacial property. In the symposium, we invite a distinguished professor, Prof. Ho-Hsiu CHOU of National Tsing Hua University (NTHU), who has won "2024 SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer" for the keynote lecture of this symposium. We also invite active researchers related to the design, synthesis, characterization,

and application of cutting-edge materials. We hope this symposium will be fruitful and contribute to the promotion of interdisciplinary research and establishment of international networks between researchers working in this field.

◇Canadian-Japanese Symposium on Renewable Energy and Materials

Date/Time Mar. 13(Thu) 9:20~16:40

Room Hall B (Lecture Hall Bldg. 1F 102)

Organization USA and Canadian Liaison Committee, Center for International Exchange

Division of Chemical Reaction Engineering

This is a collaborative forum designed to bring together experts and researchers to explore and discuss the latest advancements in chemical technology with a focus on green energy and materials for sustainability. This symposium emphasizes the integration of innovative chemical processes, environmentally friendly technologies and advanced materials for addressing global challenges in resources, green energy solutions and advanced materials. Key areas of interest for the symposium include, but are not limited to : Reactions, materials and green and renewable energy, Catalytic and functional materials for energy innovations. In this symposium, The SCEJ Award for Outstanding Asia Research Award lecture will be given by Prof. Minkee Choi (KAIST, South Korea) on heterogeneous catalysis, CO₂ capture, zeolite and other porous material design.

◇Advanced Separation and Reaction in Asia
Date/Time Mar. 13(Thu) 13:30~15:30
Room Hall E (Lecture Hall Bldg. 2F 203)
Organization Division of Separation Processes

Separation and reaction are key technology in chemical engineering. This symposium includes the advanced engineering of material preparation, separation process, and other engineering by young Asian researcher.

化学産業技術フォーラム <ライブ配信併用>

◇化学装置の高経年化と余寿命評価、および補修による寿命延長

日時 3月12日(水)13:00~17:00

場所 B会場(講義棟1階102)

主催 化学装置材料部会

産業セッション <ライブ配信併用>

日時 3月13日(木)、14日(金)

◆口頭セッション

◇化学業界が拓く新しい資源循環社会 ~技術革新と新たなサプライチェーンの構築~

日時 3月13日(木)8:55~16:35

場所 C会場(講義棟2階201)

これまで化学業界は人々の暮らしに快適さを提供するために、新たな製品や技術を次々に生み出してきましたが、昨今では資源の枯渇、エネルギー問題、環境問題など大きな影響を与えています。資源循環活動が進められていますが、このままのスピード感で本当に次の世代まで豊かな暮らしを繋ぐことはできるでしょうか。

本セッションでは、このような喫緊の課題に対して、化学業界ならではの技術開発を推進し、資源循環の新たなサプライチェーン構築を目指すチャレンジャーの最新動向を紹介します。

◇生成AIの力で進化する化学産業

日時 3月13日(木)9:00~12:00
 場所 D会場(講義棟2階202)
 セッションスポンサー 住友化学(株)
 生成AIは業務効率化、研究開発のスピード化、製造プロセスの最適化など化学産業にも大きな影響を与える可能性があります。本セッションでは生成AIが化学産業へ与える影響についてを考え、生成AIで進化する化学業界の事例を紹介いたします。

◇「化学関連産業の経営課題」 化学関連産業の中長期経営戦略を考える ～「ものづくり」から「価値づくり」へ～

日時 3月13日(木)午後
 場所 D会場(講義棟2階202)

◇世界最先端のバイオエコノミー社会の実現へ～未来へ繋ぐ日本のバイオものづくり～

日時 3月14日(金)9:00~12:00
 場所 C会場(講義棟2階201)
 セッションスポンサー (株)神鋼環境ソリューション

バイオものづくりは、石油(資源)代替、食料不足や環境汚染など地球規模での社会的課題の解決と、経済成長の両立を可能にできる分野であり、今後の大幅な市場拡大が見込まれています。

政府は2019年にバイオ戦略として『持続可能な製造法で素材や資材のバイオ化』を掲げ、昨年各種基金による補助事業を展開しています。

このセッションでは、これからのバイオものづくり革命の実現に向けた最先端企業の取組について紹介いたします。

◇2030年、2050年を目指した水素・アンモニア製造への取り組み

日時 3月14日(金)12:55~16:00
 場所 C会場(講義棟2階201)
 セッションスポンサー (株)IHI

2050年カーボンニュートラルを達成するため、再生可能エネルギーとして水素・アンモニアが期待されており、2030年には技術の社会普及が始まります。このような社会動向の中、エネルギーキャリアとして開発が進む水素、アンモニア、メチルシクロヘキサンの製造、利用に関して、技術開発の最前線を紹介いたします。

今回初めての取り組みとして、講演後に講演者とのオンライン交流会を実施します。是非ご参加いただき活発な意見交換をお願いします。

男女共同参画委員会企画
 「ダイバーシティフォーラム」
 (一般公開企画)
 <ライブ配信併用>

日時 3月13日(木)9:00~13:00
 場所 E会場(講義棟2階203)

産業界から講師を招き、男女共同参画に関して、ご自身の経験に基づいた講演を行います。併せて化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。その後「女性技術者の増加に対してどのような取り組みが必要か」をテーマに講演者の方を含めたパネラーによるパネルディスカッションを予定しています。

戦略推進センター
 CCUS検討委員会企画
 「CCUS検討委員会シンポジウム」
 <ライブ配信併用>

日時 3月14日(金)8:55~12:00

場所 D会場(講義棟2階202)
 共催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会、環境部会、基礎物性部会
 セッションスポンサー (株)シムアーツ
 協賛 (一社)資源・素材学会、(一社)日本鉱物科学会

本委員会では、カーボンニュートラル実現にあたって必須とされるCO₂回収・利用・貯留(CCUS)の社会実装に向けた活動を行っています。本シンポジウムでは、近年、重要性を増す海洋を舞台としたCO₂の固定や除去をトピックとし、第一線の講演者とともに議論します。

「若手研究者が考える未来の化学工学研究」
 <現地のみ>

日時 3月12日(水)14:00~17:00

場所 Q会場(図書館3階大村ホール)
 全国で活躍する様々な分野の若手の研究者・技術者にお集まりいただき、ポスター形式でリラックスした雰囲気の中で研究・技術紹介と意見交換を行います。最新の研究や現場での応用など幅広い話題を提供し、未来の化学工学研究を、次世代を担う若手が活発にアイデアを交わす機会を提供していきます。さらには、研究者・技術者同士のコネクションづくりにも役立つ場を提供します。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」
 <現地のみ>

日時 3月12日(水)13:15~17:00

場所 G会場(講義棟3階304)
 粒子・流体プロセス部会の各賞の表彰式および受賞講演です。

熱工学会部会、エネルギー部会企画
 「熱エネルギー技術の統合によるCO₂削減への挑戦」
 <現地のみ>

日時 3月12日(水)13:15~17:00

場所 K会場(講義棟4階404)
 CO₂排出削減の問題からエネルギー創出、利用における様々な研究開発が活発に行われています。エネルギー形態の一つである熱エネルギーは産業、民生において必要不可欠であるものの、貯蔵や輸送が非常に困難であり、低温の熱については利用されことなく捨てられています。このような状況においては熱効率の向上だけではなく、未利用の熱を無駄なく利用する手法やプロセス、またマネージメント技術を開発することもCO₂排出削減において重要となっています。そこで本シンポジウムでは、サーマルサーキットなどの熱利用プロセスや熱マネージメント技術、高効率熱利用に関するシンポジウムを開催し、熱利用に関する積極的な議論を行います。

参加登録に関する注意事項

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期、第二期は2月12日で終了しております。第三期(含む当日)は2月13日~3月14日(金)12:00までwebにてお申込みいただけます。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例:第一期で大会参加のみ登録、第二期で講演要旨

集を追加登録、はできません。また、第一期や第二期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いいただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第三期に改めてお申込み、お支払いください。

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期一週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内いたしますので、そちらに従ってお手続きをお願いいたします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いいただいてからweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いいたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2025年度(2025年3月~2026年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇懇親会参加について

定員に達した場合は早期に締め切る可能性がありますので、参加ご希望の方は早期にお申し込みください。また、懇親会のみへの参加であっても大会参加登録が必要となります。ご了解ください。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は別売りです(2,200円/部)。ご購入いただいた方には会場受付でのお渡しになります。現地に会場されなかった方は会期後に実行委員会までお申し出ください。第三期では在庫がなくなり次第販売終了します。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、購入されない方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

本大会から講演要旨集はUSBメモリでの提供(別売)から大会前のダウンロード提供(大会参加費に含む)に変更となります(USBメモリ版は作

成しません)。大会に参加されず(無料参加登録者含む)講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円(税込)、本会非会員は23,100円(税込)で販売いたします。

◇その他詳細について
大会webサイトをご確認ください。

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
京王観光株式会社 東京第1支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
化学工学会 運営サポートチーム
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10時~17時

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第90年会 実行委員会
E-mail: inquiry-90a@www4.scej.org

参加費

大会参加費には、懇親会費、講演プログラム集冊子(別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	第三期 (2/13~当日)	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	15,000円	不課税
シニア会員	8,000円	
永年会員	7,000円	
教育会員	7,000円	
学生会員	7,000円	
ジュニア会員	7,000円	
海外正会員	15,000円	
海外連携会員	15,000円	
海外学生会員	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	18,000円	不課税
懇話会会員	18,000円	
部会個人賛助会員	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	
(*2)AIChE: 米国化学工学会, CIESC: 中国化学工学会, CsChE: カナダ化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, IChE: インド化学工学会, KICHe: 韓国化学工学会, PICHe: フィリピン化学工学会, TwIChE: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	33,000円	課税税込

懇親会費

会員資格	第三期 (2/13~当日)	備考
本会個人会員(正会員・教育会員・海外正会員・海外連携会員)	8,000円	課税税込
本会個人会員(永年会員・シニア会員・学生会員・ジュニア会員・海外学生会員)	6,000円	
本会法人会員に属する方, 懇話会会員, 部会個人・法人賛助会員	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生以外)	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	6,000円	
上記いずれにも該当しない方	8,000円	
(*2)AIChE: 米国化学工学会, CIESC: 中国化学工学会, CsChE: カナダ化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, IChE: インド化学工学会, KICHe: 韓国化学工学会, PICHe: フィリピン化学工学会, TwIChE: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		

*定員に余裕がある場合は当日現地での受付を行う可能性があります。その場合の価格は10,000円(税込)均一・現金のみとする予定です。

講演プログラム集冊子

会員資格	講演プログラム集冊子	
	第三期 (2/13~当日)	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	2,200円/部	課税税込
本会非会員		

講演要旨集(データのダウンロード)

会員資格	講演要旨集		
	大会参加者	大会終了後別途購入	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	大会参加費を含む	12,100円/個	課税税込
本会非会員		23,100円/個	

部 会 C T

第28回反好会 (反応工学部会若手会)講演会

主催 化学工学会反応工学部会・反好会

第28回反好会講演会を化学工学会第90年会の前日に開催致します(東京理科大学 葛飾キャンパス・オンライン聴講可)。各回、多くの皆様からご好評いただいています。年会への参加如何にかかわらず参加いただけます。ぜひお気軽にお越しください。化学工学系の大学生、高専生を含め、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2025年3月11日(火)15:25~18:05

開催場所 東京理科大学 葛飾キャンパス
オンライン(Zoom)での聴講も可能とします

プログラム

- 15:25~15:30 開会挨拶
- 15:30~16:15 「機械学習と既存速度式に立脚した新たな反応解析手法の提案」
静岡大学 村上 裕哉氏
- 16:15~17:00 「汎用原子レベルシミュレーターの開発背景と反応工学での応用」
Preferred Computational Chemistry 浅野 裕介氏
- 17:15~18:00 「ゼオライトの後処理による高機能化と応用展開」
東京大学 伊與木 健太氏
- 18:00~18:05 閉会挨拶

参加資格 反応工学にご興味をお持ちの全ての方。学部生・高専生の参加も歓迎いたします。

参加費 無料

参加申込方法 「反好会HP」よりお申し込みください。

<https://scej-cre.org/cre/wakate>

申込〆切 2月28日(金)

注意事項

- ★すべての発表の録画、録音および配布資料の無断での転載、複写、第三者への提供を禁止致します。
- ★講演会終了後、懇親会を開催予定です。
- ★反好会HPから講演内容詳細などの最新情報をご覧ください。

問い合わせ先 反好会代表幹事 藤塚大裕(京都大学) E-mail: fujitsuka@cheme.kyoto-u.ac.jp

第7回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議 The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2025)

化学工学会エネルギー部会が始めましたエネルギー材料、プロセスに関わる第7回国際シンポジウムIMPRES2025[*]を2025年10月27日(月)~30日(木)に、仙台において開催いたします。

*The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems

<https://www.senkyo.co.jp/impres2025/index.html>

本会議は“Energy Innovation for Sustainable Societies”を主題とし、エネルギー貯蔵と変換、エネルギーキャリア、電力貯蔵と変換、蓄熱、低炭素技術、エネルギー材料・プロセス、材料DX、LCA、環境・バイオマス技術と関連トピックスを対象として発表、討論を行います。若手研究者向けの講演表彰も設けております。

仙台、東北のImpressiveな素晴らしい伝統と自然の中で、持続可能なエネルギー社会の実現に伴う課題とその解決を、国際的な視点で探り、新たな研究イノベーションが醸成されることを目指しております。

なお、化学工学会会員には参加費割引が適用されます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。詳細は下記ウェブをご参照ください。

<https://www.senkyo.co.jp/impres2025/index.html>

Flyer: <https://www.senkyo.co.jp/impres2025/document/poster.pdf>

■講演申込スケジュール

2025年3月20日(木) Abstract提出と講演申込【〆切】

IMPRES2025 General

Chair 加藤之貴(Science Tokyo)

Chair 北川尚美(Tohoku Univ)

■問い合わせ先

IMPRES2025 実行委員会

impres2025@grp.tohoku.ac.jp

The Energy Division of the Society of Chemical Engineers, Japan, is pleased to announce that the 7th

International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2025) [*] will be held in Sendai, Japan, from October 27th (Mon) to 30th (Thu), 2025.

*The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems

<https://www.senkyo.co.jp/impres2025/index.html>

The main theme of this conference is “Energy Innovation for Sustainable Societies”, and presentations and discussions will be held on topics related to energy storage and conversion, energy carriers, electric energy conversion and storage, thermal energy storage, low-carbon technology, energy materials and processes, materials DX, LCA, environmental and biomass technology, and related topics. Also awards for presentations by young researchers are planned.

In the impressive and wonderful traditions and nature of Sendai and Tohoku, we aim to explore the issues and solutions involved in the realization of a sustainable energy society from an international perspective, and to foster new research innovations.

Members of the Society of Chemical Engineers, Japan, are eligible for a discount on the participation fee.

We look forward heartily to your participation.

For more information, please see the website below.

<https://www.senkyo.co.jp/impres2025/index.html>

Flyer: <https://www.senkyo.co.jp/impres2025/document/poster.pdf>

Schedule for submitting abstracts and applications
Thursday, March 20, 2025: Deadline for submitting abstracts and applications

IMPRES2025 General

Chair Yukitaka KATO (Science Tokyo)

Chair Naomi SHIBASAKI-KITAKAWA

(Tohoku Univ)

Contact

IMPRES2025 Executive Committee

impres2025@grp.tohoku.ac.jp